

令和4年度 第1回添田町総合教育会議 会議録

日 時：令和5年2月21日 火曜日 10時00分～11時10分

場 所：添田町役場 3階 議員控室

出席委員：添田町長 寺西 明男

添田町教育委員会 教育長 高瀬 光一

添田町教育委員会 教育委員 諫山 哲朗

添田町教育委員会 教育委員 古田 浩治

添田町教育委員会 教育委員 梅野 香理

添田町教育委員会 教育委員 山下 憲香

事務局：添田町教育委員会 学校教育課 課長 梶谷 敏博

学校教育課 教育指導主事 高瀬 美智也

学校教育課 課長補佐 木稻 茂

学校教育課 学校建設係長 田邊 秀治

欠席者：0名

傍聴人：0名

議事内容

1 開 会

2 町長あいさつ

3 議 題 (1) 添田町立小中学校建設事業 実施設計説明書(案)について
(2) 添田町立統合小学校 校名(案)について

4 閉 会

【議事詳細】

発言者	内 容
梶谷学校教育課長	皆様おはようございます。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは只今から、令和4年度第1回添田町総合教育会議を開催させていただきます。まず、町長御挨拶のほどよろしくお願いいたします。
寺西町長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>お忙しい中、会議に参加していただきまして誠にありがとうございます。コロナ等も、まだまだ終わったというわけではございませんが、我々の生活も徐々に前の生活を取戻していく形をとっていかなければと思っております。いろいろな行事等、学校行事も含めまして、なかなか出来なかったものでございますが、予防措置を取りながらしっかりと元に戻していこうと思っております。町としましても、いろいろなイベント、町が活気づくような方策、BRTに伴う整備等も行われております。これは夏開業ですが、直近におきましては、添田公園桜まつりを3月26日に、添田公園、中島家、体育館を使いまして開催します。いろいろな発表や子どもたちが遊べるようなゲーム等のイベント、商工会青年部が、どんぶりグランプリという企画もやるようになっております。余り盛大にというわけではございませんが、皆様方に広い場所で、元気を出してもらおうという形でやるようにしております。</p> <p>本日は、令和7年度開校に向けた、添田町立小中学校の建設に関する議題でございます。いよいよ本格化してきております。いろいろ多くの課題等の検討をしながら、今回の実施設計になっております。議題としましては、その実施設計の説明、統合小学校の校名について、皆様方と総合教育会議での審議を経まして、新年度予算等、またそれぞれの手続に進んでいきたいと思っております。どうか皆様方の忌憚のない御意見をいただきまして、より良いものにしていきたいと思っておりますので、どうか本日はよろしくお願いいたします。</p>
梶谷学校教育課長	ありがとうございます。それでは、本日の議題のほうに入らせていただきます。議事の進行につきましては、町長によりしくお願いしたいと思います。
寺西町長	それでは、進めさせていただきます。お手元でございます、次第3の議題に基づきまして進めさせていただきます。まず、(1)の添田町立小中学校建設事業実施設計説明書案について、事務局から説明をお願いします。
田邊学校建設係長	<p>添田町立小中学校実施設計説明書案について、お手元の資料に沿って説明をさせていただきます。まず、外観のイメージ図です。こちらにつきましては、基本設計時から変更になった箇所を修正して、新たに作成をしたものです。変更箇所につきましては、後ほど配置計画、平面計画のところで御説明をさせていただきます。</p> <p>次に資料1ページでございます。小中学校建設に当たっての背景と目的等になっております。こちらにつきましては、本日は割愛させていただきます。次に、2ページにつきましては、学校施設整備に関する基本概要でございます。</p>

計画の敷地につきましては、基本設計と変わっておりません。中学校の現在の敷地で実施設計を行っています。資料の左上、計画建物概要の変更点については、建築面積 5,121.16 m²となり、基本設計からは 178.16 m²の増となっています。延床面積では、14,548.24 m²となり、基本設計から 647.60 m²の増となっています。内訳については、校舎が 10,570.10 m²、屋外階段、屋外デッキ 669.76 m²、体育館が 3,135.50 m²、附属施設として 172.88 m²といった面積になっています。延床面積増の主な理由としては、屋外階段、屋外デッキが校舎棟と体育館棟の間の 1 階から 3 階にあります。これについて延床面積に含まれたためです。右側の計画諸室一覧では、各階別で部屋の個数等を記載しています。

続きまして 3 から 4 ページは、施設規模についてです。こちらは各諸室の面積を記載しています。施設規模につきましては基本設計と大きく変わったところはございません。普通教室、特別教室等、開校準備協議会の皆さんの意見をお聴きしながら、詳細な設計に反映し、こちらの施設規模となっています。

続きまして 5 ページでは、現在の小学校、中学校の概要でございませう。町内の各学校児童生徒と学級数の編制等になります。令和 4 年度では小学校 3 6 8 名、中学校 2 1 2 名が現在の児童生徒数であり、合わせて 5 8 0 名となります。令和 7 年 4 月開校時の児童生徒数の見込みにつきましては、赤枠で示していますが、小学校が 3 2 2 名、中学校 1 9 4 名の計 5 1 6 名の見込みとなっています。こちらの資料の右下でございませうが、添田町が目指す子供像を記載しています。「ふるさと添田町を愛し 夢・希望を実現する かしこさとたくましさを兼ね備えた 人間性豊かな心を持つ子ども」でございませう。この子ども像のような添田町の子どもたちを育てていくことを念頭に、次の 6 ページに建築計画の 5 つの基本方針を定め設計を進めてきました。

6 ページをご覧ください。それぞれ、特徴的なところを説明いたします。一つ目でございます。これからの教育を支える学習空間、主体的対話的な学びへの対応としては、普通教室では I C T 教育設備である電子黒板やタブレットなどが活用しやすい環境とし、小学校普通教室では、多様な学習形態を可能とするため、教室内にオープンスペースを計画するとともに、教室と廊下との間仕切りを開放できる仕様としています。中学校普通教室は隣接する特別学習室やラウンジを利用して、少人数学習やグループ学習が行える教室回りとなっています。

二つ目でございます。児童生徒の健やかな成長を育む「生活環境」豊かな心・健やかな体の育成の対応としては、遊具を設置した低学年専用庭などを設け、短い休憩時間でも、外で遊べ、屋外での多様な教育活動が可能な作りとなっています。

三つ目でございます。統合のメリットを生かす「交流環境」人間関係の多様化、地域連携・協働の推進への対応といたしましては、校舎 3 階を小中の共有エリアとし、小中学生が一緒に活用できる図書室や交流も可能なメディアスペースを設け、交流環境の充実を図れる環境となっています。

四つ目の、児童生徒と地域を守る「安全安心」な学校、誰もが利用しやすい施設、地域の防災拠点への対応といたしましては、体育館等の1階に地域ラウンジ、メモリアルホール、PTA室を設け、地域に開放しやすい位置とし、緊急の災害時に地域住民の方が利用することも考慮して、空調設備、冷暖房を完備した地域の防災施設としても活用できる施設となっています。

最後の周辺地域や自然との共生を目指す「環境に配慮」した学校、地域に愛される学校、環境の時代に合った建物づくりへの対応といたしましては、添田産材の木を使い、木の香り漂う温かみを感じられる空間により、愛着が生まれる木質化を普通教室の床や腰壁に使用する計画となっています。

この小中学校の建設に当たり、特徴的な計画について抜粋して説明をさせていただきました。

このページの下のパース図は岩石山側から見たイメージ図です。

次の7ページでは、配置計画についてです。全体的な配置につきましては、まず今のグラウンド部分に校舎、既存の中学校プールのところ小学校のグラウンド、そして今の既存校舎の部分に中学校グラウンドを建設する計画です。基本的な考え方等につきましては、小中連携ができるように考えております。「ふれあいロード」や「おはよう広場」を設け、朝の挨拶運動など様々な交流を促す計画としています。学校施設前面に歩道を整備することで、近隣の添田公園駐車場からのアクセスに配慮した計画となっています。駐車場におきましても、スクールバスが駐車場に入ってくるような計画で考えています。基本設計から大きく変更になった部分につきましては、朱書きで記載しています。ここでは3箇所ございます。正門の位置を変更しています。「ふれあいロード」の入り口駐輪場のところに正門を設ける計画でございましたが、サインとしても分かりやすい道路沿いに変更となっています。次に、右下のテニスコートでございます。中学校グラウンドと同じレベルに切下げを予定していましたが、造成はせず、現状高さにテニスコートを設置することとしています。また、1階普通教室前の低学年専用庭を人工芝からグラウンドと一緒にクレイ舗装に変更しています。これにつきましては、メンテナンスや費用対効果も勘案しての変更です。

続きまして平面計画です。8ページから12ページまでが平面計画となっております。1階から屋上までの平面図を載せています。こちらにつきましては、1階が小学校低学年の教室、2階が3年生以上の教室、3階が共用部分、4階が中学校といった内容となっています。平面図につきましては、青い矢印で書いているところは、開校準備協議会での御意見を聴きながら、配置・スペース等も考えながら進めていったことを記載しています。平面計画についても、基本設計から変更になった箇所を説明させていただきます。

8ページ1階では、屋外床の仕様をウッドデッキからコンクリート舗装に変更しています。また、多目的教室の可動間仕切りを取りやめとしています。次に、2階の9ページでは、こちらでも多目的教室の可動間仕切りの取りやめ、

また、体育館部分に中学校部室を6室設けています。

次に、10ページ3階では、多目的ホールの可動間仕切りの取りやめ、外構で、中学校部室棟を体育館倉庫とトイレのみに変更しています。中学校グラウンドでは、グラウンド計画に支障のない、ラップルコンクリート杭を撤去せずに残置することとしています。11ページにつきましては、大きな変更はありません。

12ページでは、屋上設備の目隠しの取りやめ、太陽光パネルの取りやめをしています。以上の変更箇所については、安全面や機能的にも問題ないことを確認のうえ、維持管理面や費用対効果など協議のうえ変更しています。

そして、屋上の防水についてですが、実績や信頼が最も高いアスファルト防水としています。以上が平面計画のところの説明になります。

13ページですが、こちらでは教室の広さの説明となります。低学年、中高学年、中学生のユニット別で考えています。小学校は、教室を広く使用するといった御意見が多くございましたので、教室内にオープンスペースを設け、教室の廊下側が開放できる形を取り、廊下部分も取り込んだオープンスペースといった形で教室を広くするようにしています。そして、各学年教室の間に、多目的教室を設け、習熟度別学習や小人数教室と活用できるつくりとなっています。中学生も同様に特別学習室を設け、小人数教室等として活用ができ、廊下側に設けたラウンジではグループ学習にも対応できるようつくりとなっています。

続きまして、14ページの説明でございます。こちらにつきましては図書室の計画でございます。内観イメージのように明るく、やさしい配食で、暖かく楽しい空間を演出し、廊下からも中が見渡せる計画としています。

小学生、中学生がそれぞれのエリアを本棚で区切り、閲覧スペースについては、天井のところの仕上げによりエリアが視覚的にも分かるような計画としています。また、隣接するICT教室やメディアスペースとの連携利用により、図書室内では出来ないグループディスカッションやグループワーク等ができるような配置となっています。

次に15ページの体育館関係です。体育館につきましては、校舎とは別棟で、1、2階を小学校体育館、3、4階を中学校体育館で計画しています。小学校につきましては、ミニバスケットのコートをもとに、そしてバレーのコートがとれる配置としています。これにつきましては、実施設計においても、なるべく体育館の面積を広く取れるように協議し、最大限面積を確保できるようになっています。中学校につきましても同様な形で、バスケットボールのコートやバレーのコートを計画しています。天井の高さについては、大会の高さで中学校は10メートル、小学校は7メートル確保できる計画となっています。

続きまして16ページは立面計画です。左側が校舎、右側が体育館になっています。基本設計から実施設計となり、窓の位置や大きさなども詳細に変わっています。例えば、体育館の右下では、大きな荷物なども出し入れできるように

扉を広く変更しています。また、体育館から庇を出しまして、雨に濡れずに児童生徒が校舎に行けるようなつくりとなっています。

続きまして、17ページが断面計画です。こちらにつきましては、基本的には4階構造となっており、屋外通路から中学校グラウンドへ行く計画となっています。先ほども申し上げましたが体育館の高さにつきましては、1、2階は小学校、3、4階は中学校となり、最低限の高さは確保しています。

次に、18ページは仕上げ計画となります。仕上げ計画の考え方といたしましては、耐久性、経済性、効果性等の材料を持つ機能と仕上げの色調やデザインが融合した仕上げとしています。また、機能性を重視しメンテナンスが少ない材料を使用することとしています。仕上げ計画のイメージのとおり、木を基調とし、添田産材を使用した木の温もりが感じられる仕上げ計画としています。それでは、次に19ページは工事の移行計画となっています。

基本設計からの大きな変更点といたしましては、土砂災害特別警戒区域ラインの廃止に伴い、既存のプール場所を一体として工事することが可能となり、小学校グラウンド、附属建物を校舎、体育館工事に組み込み工事を行うことができるようになっていきます。工事期間中の安全確保と近隣への影響に対する配慮といたしましては、児童生徒の動線と工事車両動線の分かりやすい歩車分離、交通誘導員の適切な配置により児童生徒の安全を最優先にした工事計画としていきます。工事は、まず、新設浄化槽を設置する工事を行い、既存体育館とプールを解体、造成をいたしまして、校舎と体育館、小学校グラウンドを建設します。ここまでが第1期工事です。そして、第2期工事で校舎が完成した後に既存校舎を解体しまして、中学校のグラウンド整備、屋外倉庫・トイレを整備する計画です。

最後に20ページです。こちらに工事関係スケジュールと概算工事費を記載しています。上段には各工事の所要期間を載せたスケジュールとなります。浄化槽工事では5か月、体育館プール解体工事では3.5か月、校舎新築工事では、校舎棟、体育館、小学校グラウンドを含む建設で19ヶ月を予定しています。2か月の引っ越し期間をとりまして、令和7年4月開校でございます。令和7年度には、既存の中学校校舎の解体7か月、令和8年度にわたりまして、中学校グラウンド整備、屋外トイレ、倉庫整備を8ヶ月とした計画となっています。下段には基本計画時点から概算工事費の推移について載せています。基本計画時点の令和2年度では、51億913万円といった概算工事費でしたが、令和3年度、基本設計、実施設計と進む中で最終的な実施設計では、58億2167万円といった概算工事費となっています。増額の内容につきましては、一つは物価上昇により資材費が高騰したものでございます。やはり基本設計時から非常に上昇していったところでございます。その中で、配置計画等で御説明しました変更内容により、コスト縮減のための見直しを行い約2億円の縮減を図っております。そして最終的な58億2167万円の概算工事費となっています。以上で実施設計説明書案についての説明を終わります。

寺西町長	<p>詳細な説明ありがとうございました。かなり膨大な資料でございますが、何か御意見なり御感想なりございましたら、よろしく申し上げます。</p> <p>私から一ついいですか。太陽光の分ですが、これは時代の趨勢だとは思いますが、今の説明では費用対効果等も含めての話だろうと思いますが、今後この屋根に太陽光発電をつけられるような仕様にはなっているのかなど、費用対効果の件も含めて、外した考え方を教えていただければと思います。</p>
梶谷学校教育課長	<p>費用対効果につきましては、資料は御提示していませんが、やはり太陽光パネルの設置に対して、1500万円程かかるというところがございます。これについて、発電力による節電効果や今後の耐用年数、その後の撤去・再設置といった部分も含め費用対効果を考えたところ、やはり同様の費用がかかってまいります。その中で建築費の高騰により、1000万以上のコスト削減が必要命題となってきましたので、費用対効果を検討したうえで削除したところがございます。そして、今後の太陽光発電の設置につきましては、可能ではありますが配線等といった整備が別途出てきます。そうしたところも含めて、太陽光発電は今後の維持費用、廃棄処理等も考えたところで、今回の計画の中から外しております。</p>
寺西町長	<p>総合的に判断して、今回の学校では、太陽光に対応することはないという考え方ということですね。分かりました。他に何かございませんでしょうか。</p>
古田教育委員	<p>よろしいでしょうか。6ページの建築計画の基本方針のところですが、非常に工夫されていて良い学校ができるだろうなという感想をもちました。特に1番目は学習空間のところですね。2番目は生活環境ということで、健やかな体の育成への対応といったところは大変良いことだと思います。それから添田町の木を使った木質化ですね。ぜひそうなってほしいと思います。そして地域の防災施設、これも私は、地域に開かれた学校施設として非常に大事なことだと思っています。災害も大きな災害が起きていますので、この新しい学校に、町民の方もかなり期待をしていると思います。それで一点お尋ねですが、空調整備は良いですが、温水シャワーはありますか。</p>
梶谷学校教育課長	<p>温水シャワーの設備はありません。あくまでもガスを使って、災害時に電気が遮断しても、体育館が利用できるようにガス空調で対応しております。</p>
古田教育委員	<p>この防災施設ですけど、どこをどのように防災施設として活用される予定なのか、説明いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
梶谷学校教育課長	<p>基本的には、体育館そのものを開放する形で考えております。ただ災害の規模に応じてまいりますので、基本的には1、2階の小学校部分を開放するという形です。大規模災害となりますと、当然のことながら全館開放という形になってくると思います。ただし、以前御説明していただきましたように、町の避難計画そのものにつきましては、町体育館を利用するといった計画ですので、この学校におきます防災施設につきましては、大規模な災害時の利用という形にはなりません。あくまでも避難施設としては、基本的には小学校部分の1、2階を開放していく形での計画でございます。</p>

古田教育委員	その際ですが、毛布やプライバシーを守るための簡易テントなど、そういった物も常備し倉庫に保管されているといいなと思います。それと食事も給食センターで手配するといった事も考えられていますか。
梶谷学校教育課長	災害時の対応になりますので給食設備そのものが使えるかどうか不安なところがあります。防災の備蓄に関しましては、外部に倉庫はございませんが、2階部分に倉庫を設けまして、備蓄等は行っていこうと考えております。ただし、先ほど言いましたように、この学校施設そのものを防災施設として利用するものではないというところは、もう一度、御了承の程お願いしたいと思います。あくまで、災害時の緊急な場合においては、ここを開放して使っていくという事で、ここが地域拠点としての防災施設ではないということです。当然、ほかの施設が利用出来ない場合には、防災施設としても活用していきます。
寺西町長	今回こういう高台にもありますし、課長が言うように基本的な考え方があるのでしょうか、建て上がった後の利用について防災の方としっかり検討を進めるようよろしくお願いします。他にございませんでしょうか。
梅野教育委員	すごく計画は素敵で、どんな学校ができるのか、皆さんワクワクしていると思います。きちっと考えていただいていると思いますが、工事が始まった時に、通っている子どもたちの安全を絶対に確保してほしいということは、通わせている保護者の代表として言わせていただきたいと思います。長い間、大きいトラックの出入りが続くと思うので、子どもたちも気を付けるとは思いますが、何が起こるか分からないし、事故がすごく心配なので安全管理はきちっとしていただきたいと思います。工事の時は、壁か何かで区切られて工事区間と分かるようになりますか。
田邊学校建設係長	はい。仮囲いをし、工事区間と分けるようにいたします。
梅野教育委員	あともう一つは、工事の時に運動場や体育館が使えない時期が2年ぐらいあると思いますが、その間に、体育や部活をどうするかというところも考えていただいて、町体育館やサンスポを使うと思いますが、移動もあるので、そのところもきちっと考えていただきたいと思っています。よろしくお願いします。
寺西町長	その点、周辺住民の方もかなり心配されているようですので、十分検討していると思いますが、今言われた意見を十分踏まえてよろしくお願いします。他に何かございませんでしょうか。
諫山教育委員	今の意見に関して、もう一つ補足で質問します。体育館、運動場の工事中の使えない時は、どこを使うとか、具体的に子どもたちの移動をどうするかということは、どんな具合でしょうか。
木稲学校教育課長補佐	体育の授業、それから部活に関しましては、今言われたように2年間ほど体育館、運動場が使えなくなり、中学校の運動場も翌年に造成工事に入るということで、次の年も使えないこととなります。現在、学校と協議しておりまして、今年の5月から運動場、体育館は使えない状況になりますので、町体育館、そえだドーム体育館、それからサンスポの多目的グラウンド、野球場を体育授

	業、部活動に利用するようにしております。移動に関しましては、町体育館は徒歩で、工事車両等に気をつけながら移動してもらいます。サンスポについては、通学バスを利用してピストン輸送になると思います。体育祭の練習等に関しましても、バスで移動を行ってもらおうということで、体育授業についても学年ごととか、2コマ続けて授業をするなど、中学校の校長、教頭と協議をして、最終的な詰めをしている状況でございます。
寺西町長	ということでよろしいでしょうか。他に何かございませんでしょうか。それでは、(2)の添田町立統合小学校、校名案についての説明をお願いします。
田邊学校建設係長	添田町立統合小学校の校名について説明をさせていただきます。お手元のほうに別紙を1枚お配りさせていただいております。公募につきましては、令和4年7月11日から9月9日まで実施をいたしまして、196点の応募がございました。応募内容を集計し、通学学校運営支援部会、開校準備協議会で検討した結果、第1候補は漢字の「添田」とし、第2候補として、ひらがなの「そえだ」「英峰」「添田中央」の3点を選定しました。第1候補の漢字の「添田」としての主な選定理由でございますが、「添田町に残る唯一の学校だから」「町の名前を残す」「同じ建物に入るのだから小中学校とも同じ名前が良い」「中学校の名前が変更されないなら小学校も同じ添田町にあるので、添田小学校の方が分かりやすい」などがございました。この結果を、令和4年11月21日の教育委員会定例会において審議していただきまして、第1候補の漢字の「添田」が承認をされています。以上が校名についての選定経過となります。本日の総合教育会議において最終決定をしていただきたく報告いたします。どうぞよろしくお願いいたします。
寺西町長	ただいま説明がございました、案としましては、第1候補の漢字の「添田」ということにしたいということでございます。応募の中で、英峰、添田中央以外に、どんな応募がありましたか。
田邊学校建設係長	添田ドリーム、英峰添田、英彦山、岩石城などがあります。
寺西町長	何かご意見ございますか。
古田教育委員	「添田」非常にシンプルでいいと思いますが、ただ一般の方々に、学校名を正式に呼ぶときは添田町立とか普通つきますよね。香春町思永館とか、金田義務教育学校とか、意図的に何もつけないで「添田」小中学校ということでもいいですか。
梶谷学校教育課長	条例上は4校個々にありますけれども、それが全て廃止になりまして、添田町立添田小学校という形になり、中学校はそのままということでございます。香春町思永館は義務教育学校でございますので、うちの方は統合した後の一つの新しい学校名として、校名の募集により添田小学校という形です。校名の募集の中では添田小学校ということで今後進めさせていただきまして、本来は条例改正というものが需要ですが、令和7年4月開校でございますので、今のところ

	<p>ろ直前の令和6年9月ぐらいの議会において、条例改正で全ての小学校は令和6年度末をもって閉校し、添田町立添田小学校として新たな学校を設置することで進めさせていただくという説明でございます。あくまでも、添田町立添田小学校として、新たな小学校をつくるということです。今後の校歌校章等の作成は添田小学校で進めさせていただくという御報告でございます。議会のほうでは先日、少しその話はさせていただいております。</p>
古田教育委員	<p>正門には、添田町立添田小学校、添田町立添田中学校と二つの名前が並列するということですね。分かりました。</p>
寺西町長	<p>それでは、添田町立添田小学校ということで、進めていくことでよろしいでしょうか。今後のいろんな作業を進める時には、添田小学校という形でいきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。それでは、議題の部分については、まだ時間もございますので、また、(1)に戻っても結構ですが、何かございますか。</p>
古田教育委員	<p>よろしいですか。大体あらかたですが、莫大な資料の中でイメージが湧いてきたし、非常に夢のある学校だと思えます。特に今、少子高齢化で、人口減少が進んでおりますので、やっぱりこの学校づくりで町が活気づいたらいいなと思えます。BRTもいろいろ進んでいるみたいですけど、他町村も統合が進んでいるので、だから他町村に負けないと言ったらおかしいですけど、やはり本町の特色を出して、良い学校づくり、添田に住みたいというような学校になればいいなと願っております。</p> <p>一つ課題として感じているのは、移行後の各校の跡地問題はどうなっているのか。それから、学童や水泳学習はプールがないわけですからどうするのか。こういうところも併せてセットでやっつかないと、後手になると思うので、ある程度、同じ土俵で話を進めていくべきじゃないかなと思えます。やはり一つ、水泳については、非常に懸念します。私も調べましたが、指導要領に町の状況によって、プールの設置が不可能な場合は、やむを得ないというような条項があります。昭和39年の東京オリンピックの時代から子どもたちの体力向上、命を守るために水泳学習が必要ということで、ずっとやってきてはいたしましたが、今回のプールがないということは他町村の状況と比べても少しおかしいと思うし、子どもたちの体力的にもマイナス点になるのではないかと思います。もし子どもが水難事故等で命を落とすようなことがあった時に、水泳の学習が十分できなかったということがあれば大変なことになる。真剣に学校教育の中で水泳学習を考えていくべきだろうと思えます。新しい学校では敷地がないのでプールの設置は無理だということは分かりました。そうであれば閉校後の跡地やクアハウスの利用といった部分も含めて水泳学習ができるよう進めていくべきではないかと思えます。</p>
寺西町長	<p>ありがとうございます。まさしく私自身もやっぱりプールの部分はと思っております。まだ、私の頭の中だけであるのですが、やっぱり町民プールみたいなものを一つ、必要なかなと思っております。お金の問題にもなりますが補助</p>

	<p>金等でできないかなど、これからの議論になるのでしょうか、それと今、委員さんが言いましたように、跡地のプールの活用というようなものも、学校教育の部分だけじゃなくて総合的に、跡地の校舎の問題を進めていく必要があるのだらうと思います。やはり同時並行に進めていかなければというふうに思っております。その点も十分検討しながら、よろしくお願ひしたいと思います。ほかに何かございますか。今ある小学校には全部プールがありますか。</p>
梶谷学校教育課長	<p>全部あります。しかし修繕が必要です。</p>
寺西町長	<p>その修繕をすれば使えるという状況ですか。</p>
梶谷学校教育課長	<p>添田小学校のプールは、底が漏水していますので修繕が必要です。そのため、今年度はクアハウスで授業を行ったところです。</p>
寺西町長	<p>そうすると、プールは修繕する予定ですか。</p>
梶谷学校教育課長	<p>今のところ令和5年度はクアハウスを予定しています。その後は、検討して進めていかなければいけないかと思います。</p>
寺西町長	<p>その後はまだ考えていないので、クアハウスを活用する。修繕するのも選択肢の中にはまだ入っているということですね。</p>
梶谷学校教育課長	<p>クアハウスが利用できず、水泳授業をするということになれば、何らかの形で修繕するのか、新しいプールをつくるのかといったところでしか対応がないのかなと考えております。</p>
寺西町長	<p>学校自体は水泳授業については、どう考えていますか。</p>
梶谷学校教育課長	<p>教育課程の中には入っております、ただし、最悪の状況においては、水泳授業は、やむを得ない場合は行えないということもあります。ただそれを中々説明するのは非常に難しいところがあるでしょうから、水泳授業は行うという形で今のところは位置づけて進めているところでございます。令和5年度につきましては、クアハウスを利用して、今後については、修繕、新設、クアハウスの今後もありますので、検討していくという状況です。</p>
寺西町長	<p>はい。それは分かりました。水泳はやるということですね。ほかに何かございませんでしょうか。場所としては4階建てですけど見晴らしあたりはどうでしょうかね。町の中からはそんなに見えないですかね。</p>
梶谷学校教育課長	<p>校舎はセットバックして後ろへ下げており、道路から少し奥まった形になっています。</p>
寺西町長	<p>子どもたちの授業中の景色あたりはどうでしょうか。高台だけど周りが山だからですね。それと、土砂災害特別警戒区域についてはクリア出来たということで、工事が一緒にできるというような事ですか。</p>
田邊学校建設係長	<p>土砂災害特別警戒区域については解除されております。今回、県の調査があり、前回の調査後に砂防施設等が整備されていることにより、調査結果として土砂災害特別警戒区域については解除されることになりました。</p>
寺西町長	<p>はい、分かりました。何かございませんでしょうか。</p>

古田教育委員	7ページのイメージ図を見ていると遊具もあり、いいなと思います。人工芝とかいう計画はないですね。
梶谷学校教育課長	説明の中でありましたように、もともと人工芝を予定しておりましたが、学校側ともいろんな意見を聞いたところで、人工芝は経費削減させていただいております。非常に残念だと思っておりますけれどもやむを得ないかなと思っております。
古田教育委員	学級菜園は8つほどありますけど、玄関のほうには学校菜園とかそういうのは、もう難しいということですよ。出来たら入口に花が少しあったら学校としていいなと思います。それと掲示板ですね、掲示板も外来者が来たときに、いろんな学校の様子が良いと思います。あと防犯の外灯あたりもどうなのかなと思います。
梶谷学校教育課長	掲示板は後づけになりますので、今のところは何とも言えないところです。前の部分の学校菜園は、計画の中には入れておりませんので、あくまでもグラウンドの方の学級菜園のみとなります。なるべく校門部分はシンプルに、このデザインを活かした形でさせていただこうと思っています。先ほど申しましたように、校門部分も変更して前の方に出すようにして、なるべく寄り付きが良いような形にしております。
寺西町長	学校というものが一つの区切られたものではなくて、誰でもが利用できるように、そういう形にしていると思いますが、生徒たちの安全安心が一つの基本でしょうけど、子どもたちだけじゃなくて、やはり今、委員さんが言われたように誰もが行ってみたいというような魅力ある学校づくりも必要かなと思います。そうすると委員さんが先ほど言った、いろんな部分も必要かなと思っております。他に何かございませんでしょうか。
山下教育委員	中学校では夕方になると季節によっては早く暗くなりますし、今回、山つきの方の学校になるので、暗くなった時の防犯のことも考えたら、体育館・グラウンド周辺、子どもたちが学校、部室から出てくるおはよう広場の階段のところなど、危なくないように外灯を多めに付けてもらいたいと思います。それと、建った後の跡地問題、プールのことなど課題が出てくるとは思いますが、学校が完成して、それで終わりではないと思います。その後も、子どもたちが健やかに育っていくように、プールの授業にしても、いろんな授業が問題なく受けられるように、学校が完成した後も関わっていただきたいなと思います。
寺西町長	今の意見に対して、何か考えている部分がありましたら事務局の方お願いします。外灯については、今から建設の中で考えていくと思いますが、是非とも今の要望の部分も最大限に活かせるようお願いしたいと思います。他に何かございませんでしょうか。
諫山教育委員	8ページの図面のところですが、屋外の床の仕様をウッドデッキからコンクリート舗装に変更にしたということですが、当初のウッドデッキにしたコンセプト、目的あたりはどういうことだったのか。また、経済的な管理の面からコンクリートは維持費がかからないということで変えたのだらうと思うが、そのの

	<p>ところはでしょうか。</p>
<p>木稻学校教育 課課長補佐</p>	<p>ウッドデッキについては、おはよう広場から上がっていく交流ステップ、それから各階の廊下については、ウッドデッキのまま施工するようにしております。今、言われたように1階の小学校普通教室、それから西側になりますが図工室のところについても、コンセプトとしては同じ流れで、外へのつながり、教室からその外も使って授業をやっていくという中で、一步外に出るに当たってはウッドデッキがいいということで設計していましたが、削減案の中で、その部分は基本的にウッドデッキじゃなくても使えるということ判断しまして、先生方と協議のうえ、1階のウッドデッキ部分は、今回削減をさせていただいたということでございます。</p>
<p>寺西町長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>諫山教育委員</p>	<p>13ページですが、オープンスペースをつくるような形で、点線で広げているところがオープンスペースになるということですか。</p>
<p>梶谷学校教育 課長</p>	<p>13ページの真ん中の点線部分ですが、小学校教室が面している廊下部分を開放することによって、廊下を含めたオープンスペースとして活用できるようにしています。扉はスライド型で開放できるように小学校はなっています。中学校は普通どおりとなっています。</p>
<p>寺西町長</p>	<p>他に何かございませんでしょうか。いろいろまだあるかとは思いますが、基本的には、添田町立小中学校実施設計書に基づきまして進めていくということで、御了承いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは、そのような形で進めさせていただきます。あとはいろんな手続等の中で、御意見等いただくこともあるかも分かりませんが、その際はよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、議題(1)添田町立小中学校建設事業実施設計説明書案、添田町立統合小学校校名案について、実施設計説明書につきましては、お手元にありますこの部分について、先ほどの要望がありました部分も含めまして、いろいろ勘案し対応していくということと、添田町立統合小学校の校名については「添田」いうことで、添田町立添田小学校いうことで進めていくということで御了承よろしいでしょうか。そういうことで、よろしくお願ひいたします。それでは、私の議事進行については、皆様方の御協力をいただきまして終わらせていただきます。ありがとうございました。それでは、事務局の方よろしくお願ひします。</p>
<p>梶谷学校教育 課長</p>	<p>審議ありがとうございました。町長よりありましたように、この実施設計、そして校名につきましては、添田町立添田小学校という形で進めさせていただきますと思ひます。なお、実施設計については、令和5年度当初予算の中において、予算計上して議会等についても進めさせていただきますと思ひます。それでは事務局として、報告は以上でございます。ありがとうございました。</p>